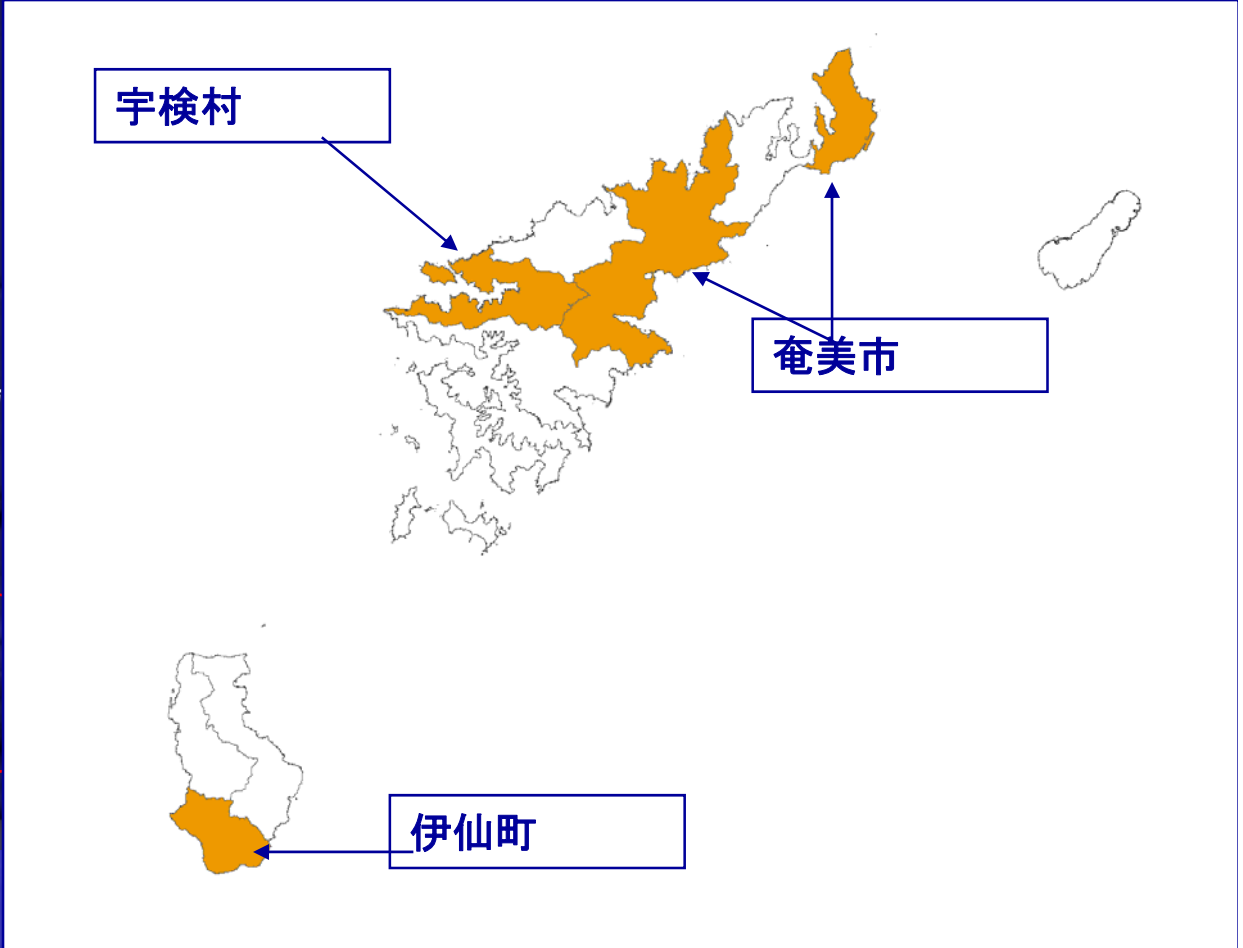
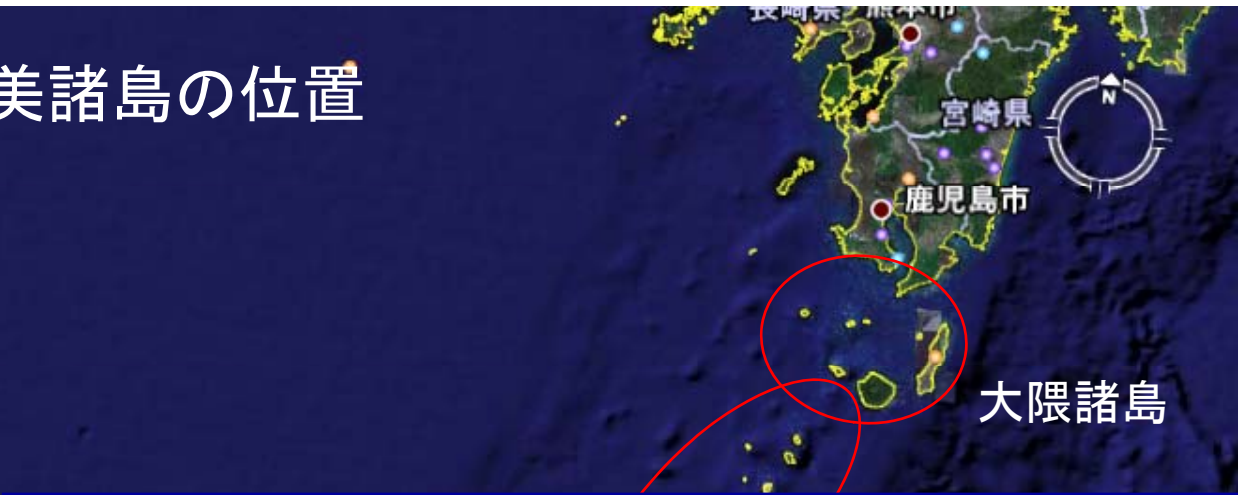


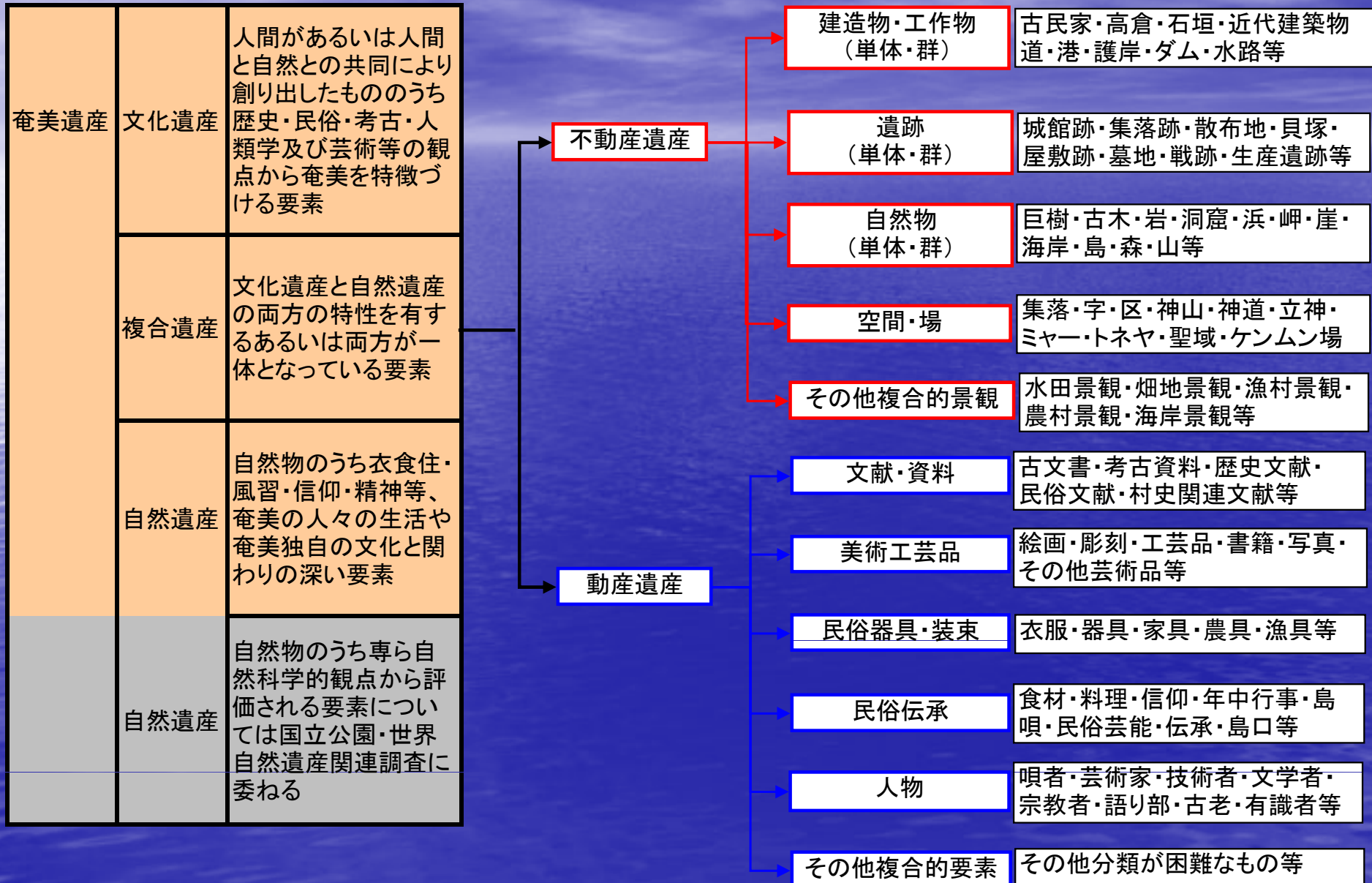
宇検村・伊仙町・奄美市 文化財総合的把握モデル事業の概要

宇検村教育委員会・伊仙町教育委員会・奄美市教育委員会

奄美諸島の位置

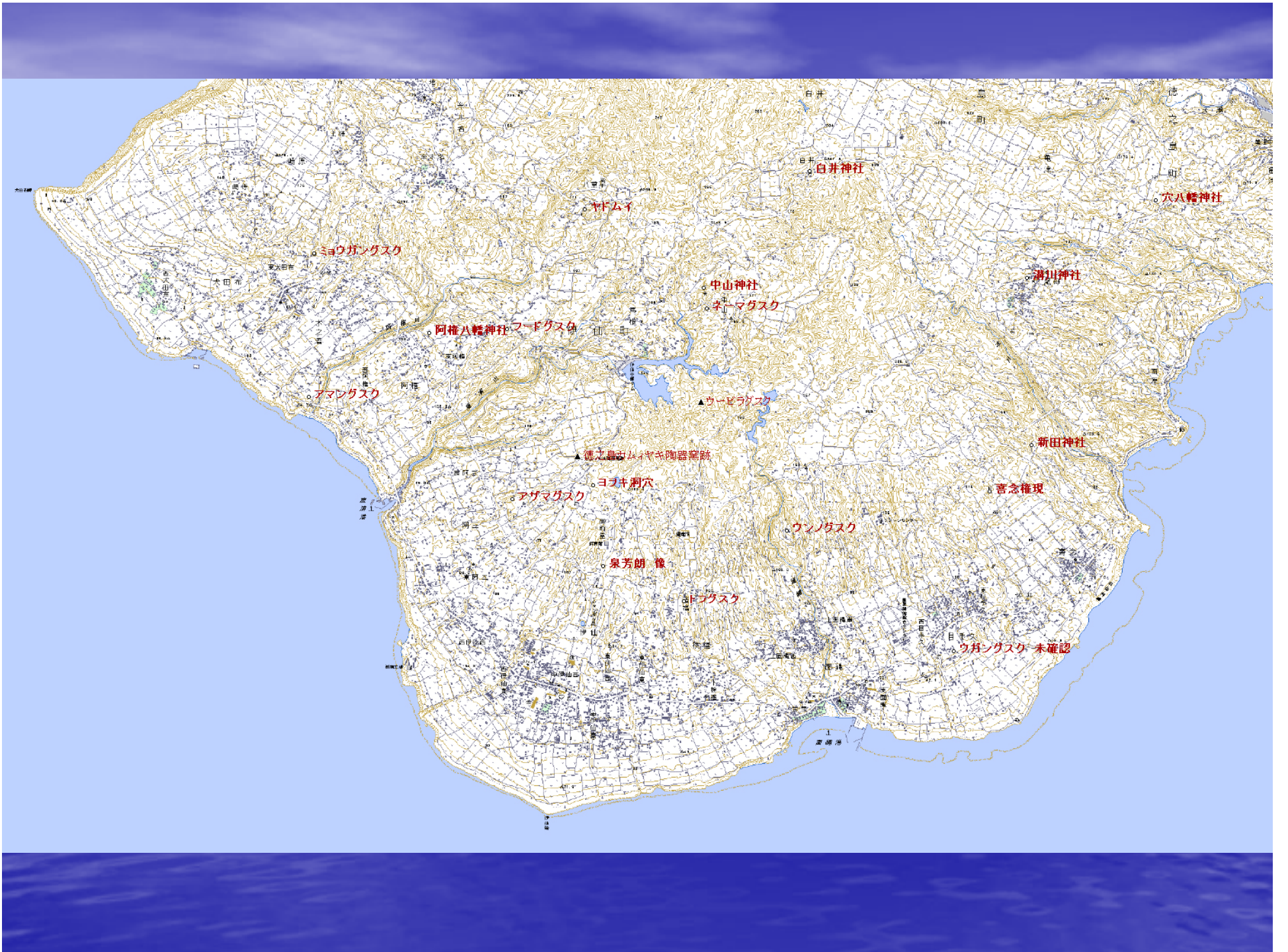


奄美遺産の抽出と悉皆調査



事業の実施体制と意義

- 奄美諸島に所在する文化財を群として捉え、その固有性に注目しながら歴史的、文化的位置付けを明らかにする。
- リスト作成は、島嶼群に点在する奄美遺産の相互関連を追究し、市町村域を越えた広域市町村圏として共同、連携して進めていく(既存組織である大島地区文化財保護連絡協議会と連携を図る)。
- 奄美遺産の保存と活用については、将来的に既存の奄美群島広域事務組合に文化行政の所管事務を設け、奄美諸島広域文化財行政を進めていくことを展望する。
- 奄美諸島全体を視野に入れた文化財保護行政と文化財の活用にあたっての計画策定を行なう予定である。各自治体に文化財専門の担当者が均一に配置されていない実情において、調査を連携して進めことは文化財保護行政の広域化と平準化を企図する上で意義深い。



今後の事業方針

- ・奄美遺産の収集とリスト化は事業終了後も継続し、高精度の文化財地図を作成する。
- ・悉皆調査によって確認された奄美遺産は関係機関に周知し、保存・活用の基礎資料とする。
- ・収集した遺産群の価値付けを明確にするため、学術調査を施す。その事前に現地視察会を開催し、調査の意義と調査方針に関する所見を得る。
- ・学術的価値が高い遺産群よりストーリー性のある文化財群を選定し、歴史文化基本構想策定の対象区域および地点を設定する。